

名古屋芸術大学 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース
2026年(R8)年度 総合型選抜 エキスパート入学試験 レクチャー メモ用紙

受験番号	氏名
------	----

※この用紙は試験終了後、回収します。

レクチャーについて、あなた自身の判断で自由にメモしてください。裏面を使用しても構いません。メモ内容は採点しません。

*本試験では、このレクチャーおよび、レクチャー終了後に配布する課題文をふまえたうえで、レポート執筆します。その後、口頭プレゼンテーションをします。すべての試験中、スマートフォン等の通信機器は鞆に入れたままにしてください。

名古屋芸術大学 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース
2026年(R8)年度 総合型選抜 エキスパート入学試験 課題文

受験番号	氏名
------	----

※この用紙は試験終了後、回収します。線を引くなどのメモは自由です。メモ内容は採点しません。

- *本課題文用紙に自由にメモを記しても構いません。
- *本試験では、前のレクチャーおよび、この文章をふまえたうえで、レポート執筆します。
- *その後、口頭プレゼンテーションします。
- *すべての試験中、スマートフォン等の通信機器は鞆に入れたままにしてください。

下は、スウェーデンの作家であるアストリッド・リンドグレンが著した児童文学『ピippi 船にのる』の日本語翻訳版の巻末に掲載された三瓶恵子氏による解説です。解説のタイトルは『ピippiの誕生』です。『ピippi 船にのる』は世界的に人気を博した『長くつ下のピippi』三部作の二作目です。

『長くつ下のピippi』は、＜中略＞一九四五年＜中略＞に出版された物語です。そんなに古いの?!と、みなさんは驚くことでしょう。ピippiのお話のおもしろさは、今でもちっとも変わりませんものね。

でも、ピippiの本が出版されるやいなや、当時のスウェーデンの社会全体に、賛成・反対の意見がうずまいたのでした。ピippiが、あまりにも普通ではなかったからです。

でも、ピippiの作者であるアストリッド・リンドグレンは、子どもたちはピippiが好きになるに違いない、と思っていたのでした。おとなたちは驚くかもしれないだろうけれど、とも思っていたのでした。どうして、彼女はそう思ったのでしょうか？ みなさんに、ピippiの物語が生まれた背景を説明しましょうね。

一九四一年のことです。七歳になるアストリッドの娘、カーリンは風邪をこじらせてずっと寝ていました。アストリッドは物語がとてもしょうずで、具合が悪くてずっと寝ていなくてはいけないカーリンのために、毎日いろいろな物語をしてあげていたのですが、そのうちにお話の種が尽きてしまったのです。困ったアストリッドは、それでも「なにかお話して!」とせがむカーリンに、「いいわよ。じゃ、なんのお話にする?」ときいたのでした。カーリンがききたいお話を作って聞かせてあげよう、とアストリッドは考えたのでした。カーリンはしばらく考えてから「長くつ下のピippi!」と、頭に浮かんだ名前を言ったのです。その名前でアストリッドの頭の中にはピippiのイメージがすぐにわいてきて、世界一強い女の子ピippiの物語があふれ出てきたのでした。

アストリッドが作ってくれたピippiのお話がとてもおもしろかったので、カーリンは病気が治ってからも、お話の続きをせがみました。そして、カーリンのところに遊びに来たカーリンの友人たちも、カーリンと一緒にアストリッドの口から飛び出す生き生きしたピippiの物語に真剣に聞き入り、ピippiが大好きになったのでした。

それから時はたち、一九四四年の三月のことです。雪がとけて凍りついた地面ですべって足をくじいてしまったアストリッドは、足が治るのを家でじっと待たなければならなくなりました。その時、退屈しのぎにアストリッドは、ピippiの物語を清書してきれいにとじて、カーリンのお誕生日プレゼントにしようと思ったのです。アストリッドは秘書の仕事をしていたので、タイプを打つのもしょうずでした。

カーリンのバースデー・プレゼントのピippiの物語はとてもきれいにでき上がったので、アストリッドはそれをもう一部作って、ボニエル社という大きな出版社に送ってみました。もしかしたらちゃんとした本にできるかもしれない、と思ったのです。ところがボニエル社は、とほうもないピippiに恐れをなして原稿を送り返してきたのでした。

でも、アストリッドはあきらめませんでした。翌年、別の小さな出版社が懸賞小説を募集して、

アストリッドはブリット・マリーという、ピッピに比べればずっとおとなしい年上の女の子を主人公にした物語でそれに応募して、銀賞を取りました。そしてその次の年にその出版社(ラーベン・オーク・ショークレン社)が、とくに子どもの物語を募集したときに、アストリッドはボニエル社がつきかえしてきたピッピの原稿を送り、金賞を取ったのです。それが出版されたのが一九四五年のことでした。

そのころはちょうど「子どもは小さなおとなだ。ちゃんと教育して、できるだけ早くおとなになるためにきびしくしつけなくてはいけない」というヨーロッパの伝統的な考え方と、「子どもは小さなおとなではない。子どもは子どもなんだ。子ども自身の生活や感情を大切にしないといけない」という新しい考え方が、両方あった時代でした。ある大学教授は、『長くつ下のピッピ』が出版されるやいなや新聞に「なんでこんなとっぴょうしもなく、子どもにとって有害な本を出すんだ！ 子どもの教育がそこなわれるではないか！」という意見を発表しました。一方で「ピッピこそ、私たちが待ち望んでいた新しい時代の子どもだ」という意見も新聞をにぎわしました。

アストリッドは、カーリンやカーリンの友人たちがピッピを大好きであることは知っていました。アストリッド自身もピッピが好きだったのです。けれども、おとなは、こんなにおとなの言うことをきかない子どもは気に入らないだろうな、とも思っていたのでした。だから、長くつ下のピッピの原稿を最初にラーベン・オーク・ショークレン社に送るときに、応募の手紙の中で、「こんな危険な物語を書く私をだれかが訴え出ないといいと願います」という冗談を書いていたのでした。

でも、大学教授の苦々しい顔をよそに、「ピッピ」はどんどん人気者になっていきました。大好評だったので、アストリッドは『長くつ下のピッピ』の続編を書きました。それがこの『ピッピ船にのる』です。＜後略＞

ピッピの物語はスウェーデンでは一九七〇年代に映画になり、テレビでもくり返し放映され、ビデオでも発売されています。一九九〇年代の終わりには、アニメ映画も出始めました。劇やミュージカルは、二〇〇〇年に入ってからスウェーデン全国でくり返し上演されています。映画ではこの『ピッピ船にのる』が一番よかったです。＜後略＞

ピッピの作者、アストリッド・リンドグレーンは、一九〇七年にスウェーデンの南部、スモーランド地方のヴィンメルビーという町の郊外の農場で生まれました。ピッピの住むごたごた荘や、ピッピがお菓子を買に行く町のお店などは、一九〇〇年代初めのヴィンメルビーのようすを少し映し出しています。アストリッドは、農園で三人の兄弟といっしょに幸福な子ども時代をすごしました。おとうさんは、働き者で話し好きでした。おかあさんはもっと働き者で、無口でした。アストリッドたち四人の兄弟は、うちのお手伝いももちろんするよい子たちでしたが、毎日楽しく遊んだそうです。「遊んで遊んで、遊び死にしなかったのがふしぎなくらいでした」とアストリッドはおとなになってから、楽しかった子ども時代のことをなつかしく思い出して、そう語っています。

アストリッドはヴィンメルビーといういなかの町の学校を卒業した後、遠くはなれた大都会のストックホルムへ移り住み、そこで秘書の学校へ通いました。そして二つ目の会社で働いていたときに出会ったリンドグレーンという人と結婚しました。アストリッドは子どものころから文章を書くのがうまかったので、新聞や雑誌などに時々短い物語を書いていましたが、ちゃんとした

作家になったのは『長くつ下のピッピ』で成功してからでした。

アストリッド・リンドグレンは、ピッピシリーズ以外にもたくさんすばらしい物語を書いて、スウェーデン国内ばかりでなく世界中で有名になりました。スウェーデンばかりでなくいろいろな国でたくさんの賞を取ったので、ノーベル賞以外の賞は全部取った、といわれるほどです。

スウェーデン国内では、国民のみなが彼女のことを誇りに思っています。私は二〇年くらいスウェーデンに住んでいるのですが、生活のほとんどすべてに、彼女の書いた物語が関係しているような気がします。夏になれば、アストリッド・リンドグレン自身が作詞をした、彼女の物語の映画の主題歌である、きれいな夏の歌がラジオから聞こえてきますし、冬になれば、テレビでくり返しアストリッド・リンドグレンの物語の映画の再放送があります。彼女の作品の劇は、毎年国内のどこかで上演されています。

アストリッド・リンドグレンの物語がこんなに愛される秘密は、なんなのでしょう？

彼女自身がその成功についてくり返し言った言葉があります。それは、彼女は、「自分自身の心の中にいる子どものためにお話を書いた」ということです。

アストリッド・リンドグレンは、おとなになっても子どもの心を忘れなかったのです。だから世界中の子どもたちは、永遠の子どものために書かれた物語に今でも感動するのです。

あなたの心の中にピッピがいつまでも生き続けますように。

<後略>

三瓶恵子 『ピッピの誕生』

アストリッド・リンドグレン作 大塚勇三・訳『ピッピ船にのる』229-235 頁、
2000 年、岩波少年文庫 015 岩波書店より引用
(<>内は引用者による。ルビは引用者が削除した。)

2026(R8)年2月3日(火)

氏名

[illegible][illegible][illegible][illegible]

(3) レクチャーと配布された文章をふまえ、あなた自身や、あなたが支援したい芸術家(画家、音楽家、マンガ家・小説家など)の作品制作や作品頒布における社会的制約及び、その制約の変化について考え、500字程度で述べてください。(下枠:650字分)

[illegible]

出題意図

特に優れた力をもつ学費免除候補者を対象としたエキスパート入試であることをふまえたうえで、下記項目の力をはかる。芸術教養領域における「特に優れた力を持つ人」とは、当該領域の AP に合致し、CP に示した授業等で優秀な成績を修める可能性が高く、DP で示したようなジェネラリストを目指し、授業における学修のみならず、課外においても活躍し、自己研鑽するとともに、他者と協働できる人である。

注：AP、CP、DP の 3 つのポリシーは末尾に掲載

- ・複雑な物事を把握し、それを言葉として表現できる力：レクチャーと文章の内容を把握し、日本語での確にまとめることができるか（レポート、口頭プレゼンテーション）。
- ・自分の頭で考え、独創的な発想をする力：レクチャーと文章の内容をふまえたうえで、自ら課題解決に繋がることを考えられるか（レポート）。
- ・人と人をつなぐ力：他の人の言葉を把握したうえで、自らの考えを、言語的な論理性および非言語的な力で、的確に他者へ伝えることができるか。また、他者の質問に適切に応じ、建設的なディスカッションができるか（ディスカッション）。

参考）芸術教養領域のアドミッションポリシー（AP）、カリキュラムポリシー（CP）、ディプロマポリシー（DP）は以下。（ ）内に示したものが芸術学部のポリシーである。

- AP：音楽、美術とデザイン、現代の多様な文化と社会に関心があり、自らの発想と知恵、感覚をいかし、地域と社会がかかえる課題を、協働して解決していく意欲のある人を求める。
（芸術に創造的な価値を見だし、それを通じて社会に貢献することを志す、幅広い視野と意欲を持った人を求める。）
- CP：視聴覚メディアと言語、情報のリテラシーを修得し、少人数ゼミとプロジェクト授業を通して、世界と現代社会の問題を発見・設定して、その解決に取り組むスキルを修得できるカリキュラムを編成している。
（芸術文化の発展と地域・社会に貢献するため、各領域の専門教育を充実させ、広く学問を学ぶことができる領域横断的カリキュラムを編成している。）
- DP：現代のリベラルアーツを修得し、芸術と文化を理解する教養あるジェネラリストとして、現代社会でひろく活躍できる知見と技術、思考力を備え、卒業論文審査に合格した学生に対して卒業を認定する。
（専門的実践を通じて社会に寄与する能力と知識を備え、所定の単位を取得した者に学士（芸術）の学位を授与する。）